

取組3 川と海の水質改善

取組の評価	2.9 一部に改善を要する
-------	----------------------

取組の評価	2.9 一部に改善を要する
-------	----------------------

＜ 取組3 の基本方針＞

1 汚水処理人口普及率の向上	3 事業系排水の適正処理の推進
2 広域的な水質浄化対策の推進	

＜ 取組3 の基本方針＞

1 汚水処理人口普及率の向上	3 事業系排水の適正処理の推進
2 広域的な水質浄化対策の推進	

【取組の目的】 良好な水環境を将来の世代に引き継いでいくため、公共用水域の水質を保全します。	2 広域的な水質浄化対策の推進
---	------------------------

『 取 組 』 に 係 る 社 会 の 動 向 ・ 本 市 の 現 状 （ 主 な 取 組 ）

《社会の動向》	◎水質汚濁に関する政府の目標として、環境基本法に基づく水質環境基準が、人の健康被害の防止及び水質汚濁といった公害の防止を図るため、水質の目指すべき目標値として定められており、川や海の水質汚染を防止するため、目標値を目指し対策が進められている。全国的にも、下水道や合併処理浄化槽に普及とともに、環境保全に対する市民意識の高まり、公共用水域の水質は大きく改善されてきている。
《本市の現状》 （主な取組）	◎水質汚濁対策として、引き続き公共下水道の整備を推進するとともに、下水道処理区域内における接続率の向上や、単独浄化槽から合併処理浄化槽への付け替えの促進に努める。また、「誇れるふるさとの川づくりプロジェクト」の取組として、原野谷川を取り上げ川の変遷をたどる旅や、水辺環境学習を実施するとともに、モデル事業として簡易浄化装置の設置検証を行った。さらに、河川の水質改善の状況把握として、市内13河川（26箇所）において、定期的測定を行い、改善の方向に向かっていくことを確認した。

《社会の動向》	◎水質汚濁に関する政府の目標として、環境基本法に基づく水質環境基準が、人の健康被害の防止及び水質汚濁といった公害の防止を図るため、水質の目指すべき目標値として定められており、川や海の水質汚染を防止するため、目標値を目指し対策が進められている。全国的にも、下水道や合併処理浄化槽に普及とともに、環境保全に対する市民意識の高まり、公共用水域の水質は大きく改善されてきている。
《本市の現状》 （主な取組）	◎水質汚濁対策として、引き続き公共下水道の整備を推進するとともに、下水道処理区域内における接続率の向上や、単独浄化槽から合併処理浄化槽への付け替えの促進に努める。また、「誇れるふるさとの川づくりプロジェクト」の取組として、原野谷川を取り上げ川の変遷をたどる旅や、水辺環境学習を実施するとともに、モデル事業として簡易浄化装置の設置検証を行った。さらに、河川の水質改善の状況把握として、市内13河川（26箇所）において、定期的測定を行い、改善の方向に向かっていくことを確認した。

『取組指標』の分析と評価結果

番号	指 標 名	項 目	H24		H25		
1	汚水処理人口普及率【％】	目 標 値	69.0		70.2		
		実 績 値	69.0		70.1		
		達成率	伸び率	100.0	1.9	99.8	1.5
		評 価	4		2		
2	太田川水質基準 （年平均のBOD濃度） 【mg/リットル】	目 標 値	0.6（延久橋） 0.9（三ヶ野橋）		0.6以下 0.9以下		
		実 績 値	0.5（延久橋） 0.7（三ヶ野橋）		0.6 0.8		
		達成率	伸び率	120.0	28.5	100.0	▲ 20.0
				128.5	22.2	112.5	▲ 14.2
		評 価	4		3		
			4		3		
3	原野谷川水質基準 （年平均のBOD濃度） 【mg/リットル】	目 標 値	1.3（広愛大橋） 1.5（諸井橋）		1.3以下 1.5以下		
		実 績 値	1.3（広愛大橋） 1.4（諸井橋）		1.8 1.3		
		達成率	伸び率	100.0	23.5	72.2	▲ 38.4
				107.1	30.0	115.3	7.1
		評 価	4		1		
			4		4		
		評価結果の平均値（A）				2.6	

④ 達成率 $\geq 100\%$ ・前年比伸び率 $\geq 0\%$ 3：達成率 $\geq 100\%$ ・前年比伸び率 $< 0\%$ ◎下水道整備区域の拡大や合併浄化槽設置数が増加することで、若干目標値は下回ったものの普及率が増加し、また水質改善の指標としては、全4点のうち3点で目標数値を達成し、原野谷川の広愛大橋地点が目標を下回った。
 2：達成率 $< 100\%$ ・前年比伸び率 $\geq 0\%$ 1：達成率 $< 100\%$ ・前年比伸び率 $< 0\%$

④ 達成率 $\geq 100\%$ ・前年比伸び率 $\geq 0\%$ 3：達成率 $\geq 100\%$ ・前年比伸び率 $< 0\%$ ◎下水道整備区域の拡大や合併浄化槽設置数が増加することで、若干目標値は下回ったものの普及率が増加し、また水質改善の指標としては、全4点のうち3点で目標数値を達成し、原野谷川の広愛大橋地点が目標を下回った。
 2：達成率 $< 100\%$ ・前年比伸び率 $\geq 0\%$ 1：達成率 $< 100\%$ ・前年比伸び率 $< 0\%$

取組』の総合評価と今後の展開方向

取 組 の 評 価					
2.9	一部に改善を要する	各評価結果 の平均値	取組指標の 評価結果（A）	有効性等の 評価結果（C）	主要事業の 評価結果（B）
			2.6	2.3	3.7

《 評価基準 》

4 ～ 3.6：順調	3.5 ～ 3：概ね順調
2.9 ～ 2：一部に改善を要する	1.9 ～ 1：全体的に改善を要する

《 評価基準 》

4 ～ 3.6 : 順調	3.5 ～ 3 : 概ね順調
2.9 ～ 2 : 一部に改善を要する	1.9 ～ 1 : 全体的に改善を要する

番号	取組の基本方針	H24	H25	今後の展開方向
1	汚水処理人口普及率の向上			下水道の普及や合併処理浄化槽の設置は、水質保全に大きな役割を果たしていることから、効果的な取組計画に基づき、引き続き、着実に事業を推進していく。
2	広域的な水質浄化対策の推進			「誇れるふるさと川の川づくりプロジェクト」の取組を通じて、より多くの市民にきれいな川への意識を高めるとともに、簡易浄化装置の設置など具体的水質改善活動を行っていく。 また、「太田川の水をきれいにする会」（袋井市・磐田市・掛川市・森町で組織）による水質検査実施や啓発ポスター事業、副読本の配付など、広域的な水質浄化対策も引き続き実施していく。
3	事業系排水の適正処理の推進			環境保全協定の締結を進めるなど、工場・事業所等の排水処理施設の適正な維持管理等による汚濁負荷の低減を指導するとともに、地域の河川へ流れ出る農業の適正管理（ゴルフ場など）についても指導の徹底に努める。

《展開方向》 拡充（順調）  拡充（改善必要）  継続推進  縮小 

『主要事業』に係る事業評価表の評価結果

番号	主 要 事 業 名	事 業 評 価 表 の 評 価 結 果		
		有 効 性	効 率 性	廃止の影響
		4. 極めて有効 3. 有効 2. 一部有効でない 1. 有効でない	4. 極めて効率的 3. 効率的 2. 一部効率的でない 1. 効率的でない	4. 極めて影響あり 3. 影響あり 2. どちらでもない 1. なし又は代替手法あり
1	誇れるふるさとの川づくりプロジェクト	4	4	4
2	合併処理浄化槽設置事業	3	3	3
3	農業集落排水事業	4	4	4
4	公共下水道接続推進事業	3	3	3
5	袋井浄化センター維持管理業務	4	3	4
6	アクアパークあさば維持管理業務	4	3	4
7	公共下水道事業 （袋井処理区）	4	4	4
8	公共下水道事業 （浅羽処理区）	4	4	4
9	管渠等維持管理費（マンホールポンプ 長寿命化事業）	4	4	4
10	公共下水道事業（袋井浄化センター増 設）	4	4	4
11	公共下水道事業（アクアパークあさば 増設）	4	4	4